

## ▼リンコシン注射液 [注], ▼リンコシンカプセル [内]

【重要度】 【一般製剤名】 リンコマイシン塩酸塩水和物 Lincomycin hydrochloride hydrate 【分類】 リンコマイシン系抗生物質

【単位】 バイアル▼300mg/1mL・▼600mg/2mL・▼1g/3.33mL・▼1.5g/5mL, ▼250mg/Cap

【常用量】 1回 600mg 1日 2～3回 [1200～1800mg/日]

経口：1.5～2g/日

【用法】 1日 2～3回点滴静注（心停止を起こすおそれあり，600mg あたり 1時間以上かけて点滴静注），筋注

1日 3～4回経口投与

【透析患者への投与方法】 設定されていない（1）

【その他の報告】 投与間隔を 2 倍に延長 [600mg×2/日]（5）常用量を 12～24hr 毎（3）

【PD】 常用量を 12～24hr 毎（3）

【CRRT】 不明（3）

【保存期 CKD 患者への投与方法】 Cr 10mL/min 以下：常用量を 12～24 h 間隔で投与（1）

【その他の報告】 GFR 10～50mL/min：減量の必要なしもしくは投与間隔を 2 倍に延長，GFR 10mL/min 未満：投与間隔を 2～4 倍に延長（12）

GFR >50mL/min：常用量を 6hr 毎，GFR 10～50mL/min：常用量を 6～12hr 毎，GFR 10mL/min 未満：常用量を 12～24hr 毎（3）

【特徴】 放線菌の一種である *Streptomyces lincolnensis* var. *lincolnensis* の産生する抗生物質。細菌のリボゾーム 50S Subunit に作用し，蛋白合成を阻害する。好気性グラム陽性菌，嫌気性菌に効果がある。

【主な副作用・毒性】 ショック，大腸炎，SJS，心停止，無顆粒球症，再生不良貧血，汎血球減少症，血小板減少性紫斑病など

【F】 20～35%（1）

【tmax】 0.38hr [im]，4hr [po]（1）【Cmax】 600mg 1時間点滴静注時 16.63  $\mu$ g/mL，600mg 筋注 15.38  $\mu$ g/mL（1）

【代謝】 代謝されにくく主として肝から胆汁中に排泄（1）

【排泄】 尿中未変化体排泄率 10～15%（12）ほとんどそのままで尿中または糞便中に排出（1）尿中回収率 11.0～13.5% [im, 8hr まで] 約 15～50% [iv, 7hr まで]（1）

【t1/2】 4.6～4.8 h r（1）4～5hr（12）腎不全 10～20 h r（1,12）

【蛋白結合率】 28～86%（1）70～80%（12）

【Vd】 0.31～0.6L/kg（12）0.41～0.57L/kg（1）

【MW】 461.01

【透析性】 除去されない（1）PBR により変化（5）

【pka】 7.6【O/W 係数】 資料なし（1）

【更新日】 20250602

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。